

# やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和5年度 第11号

## 「隙間を埋める」

校長 小早川 靖樹

1・2年生の学年末テストが終了した日のことです。前日まで雨が降っていたため、グラウンドのそこかしこに水たまりができていました。「水たまりをなんとかしないとクラブをするのは難しいな・・・。」とっていました。

1・2年生が下校したあと、ふとグラウンドに目をやると、先生が水の溜まっている場所を整備していました。「グラウンドの状態がとても悪いので、少し水たまりの水の量を減らしているのかな。」とっていました。ところが、その先生はひたすらその作業を続けていました。結局、クラブ員がグラウンドに来るまでの約2時間、その先生は水が溜まっていたグラウンドを整備し続けていたのです。（おかげでその日以降、グラウンドの水はけが少し良くなった気がします）

この先生の行動を見て、年末の出来事を思い出しました。ある先生が、職員室内にある給湯室の棚や流し、冷蔵庫等の拭き掃除をしてくれていたのです。この場所の掃除分担当はなかったと思うのですが、とてもきれいに拭き掃除をしてくれていました。

集団の中で快適に過ごすためには、何かしらの役割が必要になってきます。例えば、ゴミ出し、掃除、戸締り当番などがそれに当たると思います。でもすべてのこと（例えば、窓枠の溝を拭く、洗面所の排水溝のゴミを取るなど）に役割を決めて、それを分担できるかということそれはそれでかなり難しいことだと思います。どうしても、誰もが見逃しがちな「隙間」が生じてきます。この「隙間」を埋めるには、気づくということが必要になってきます。

自分のすべきことをきちんとすることは、もちろん大切なことです。しかし、誰の担当ではないけど、少しの気づきで行動するということは、さらに素晴らしいことだと思います。みなさんにはこの「隙間」をうめること、そしてそのようなことをしている人を見かけたときには、「ありがとう！」などの言葉をかける、そういった気持ちを持ってほしいと思います。そのような配慮ができる生徒が増えれば、山田中学校はもっともっと素敵な学校になっていきますよ。

## 保護者の皆様、地域の皆様へ

今年度最後の学校だよりとなりました。令和5年度の学校教育活動に、保護者の皆様、地域の皆様にはご理解、ご協力を賜りましたことを深く感謝いたします。ありがとうございました。来年度も生徒たちが「明日も学校に行きたい。」と思ってくれる、山田中学校をめざし、教職員が一丸となって努めていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## ☆差別を考える（吹田市教職員人権教育研修会）

1月23日（火）に、2年生が差別について考える授業を行いました。校内職業体験では採用される側に立つ生徒たちが採用する側に立った時に、どのような質問をすればよいのかを考えました。話し合いをとおして、あらかじめ与えられた質問の中に含まれている差別に気づき、差別のない社会にするためにどのようにすればよいのかを考える時間となりました。



## ☆小小交流会・小中交流会



2月8日に山田第五小学校・南山田小学校6年生との小中交流会を開催しました。生徒会執行部による児童からの質問への回答を含めた学校紹介、クラブ見学を行いました。近くの子ども同士で楽しそうに話している姿が、様々なところで見られたのが印象的でした。

また、小中交流会に先立って、両小学校の小小交流会を今年度初めて開催しました。自己紹介をきっかけとしたコミュニケーションをとおして、お互いを少し知ることができました。

## ☆百人一首大会

2月14日に1年生が百人一首大会を行いました。各学級1名ずつで畳を囲み、札をとり合いました。最後まであきらめずに札を探す姿や「次はとる」という姿がそこかしこで見られました。札をとった時の歓声、とられた時の悔しい声が体育館中に響き渡りました。



## ☆パラスポーツ体験型授業（あすチャレ！スクール）

※このプログラムは、「日本財団パラスポーツサポートセンター」が主催で実施されています。

2月27日にパラリンピアン（陸上競技）の永尾嘉章さんをお招きし、1年生が人権講演会を行いました。競技用車いすの説明や体験を行うとともに、演題『「あきらめない」という事』の講演を聞きました。

「メダルを獲りたいという強い気持ち」と「応援してもらおうということ」が大きな力を生み、眠れないほどの悔しさを経験しながらも、ソウルからリオまでの7度のパラリンピック出場、アテネパラリンピックでは4×400mで銅メダルを獲得することができたというお話をいただきました。

また、「僕にできることで君たちにできないことがある。そして僕ができないことを君たちができることもある。お互いできることで、できないことを認め合う、尊重することが大切である」というお話とともに、『「障害」とは何なのか』ということを一人生徒が考えてほしいと宿題をいただきました。



## ☆救命救急講習

2月28日に吹田消防の方々をお招きして2年生が救命救急講習を行い、心肺蘇生の方法とその大切さについて学びました。部活動顧問の先生が活動中に心停止し、生徒だけで蘇生を行ったというお話もあり、大人・子どもを問わず誰もが自分事として捉え、万一の時に行動できるようにすることが大切です。スマートフォンで電話した時にスピーカーにして（つないだままにして）おけば、手順が分からなくなっても説明してもらえるとのお話もありました。「迷わずに行動を！」ですね。



## ☆山田ふれあいフェスタ

3月3日に山田ふれあいフェスタが行われました。ダンス部と吹奏楽部が出演し、美術部が横断幕と入口前の看板を製作しました。また、ボランティアスタッフとして地域の方と一緒に運営を手伝ってくれた生徒もいました。



## ☆【吹田市教育委員会】吹田市不登校ポータルサイト

<https://www.city.suita.osaka.jp/kosodate/1018281/1018294/1029927.html>

吹田市教育委員会から、不登校ポータルサイトが開設されたとの通知がありました。このサイトでは、子どもたちの社会的な自立に向け、相談や支援・行政の取組など様々な情報につながりやすいよう、各種相談支援の概要やリンク等が随時掲載されます。



先日行われました 第41回吹田市中学校「中学生の主張」大会 ポスターの部で、3年生のさんが、優秀作品賞を受賞しました。おめでとうございます！